- 町長就任以来、町の強みを活かした発展と町民の皆様が長く安心して豊かに暮らしていくことができるように様々な施策に積極果敢に取り組んできた。これまで蒔いた種からいくつも芽が出始め、今後大きく花開く期待が膨らみ、人口減少問題についても明るい兆しが見え始めている
- 美郷バレー構想、バリの町、加-の町などこれまで取組んできた美郷町の強みを活かした町づくりが大きく進展し、また、麻布大学 FWC、加-レ IMAI、サテライトオフィス、サテライトハウス、新規就農研修施設など町づくりに関連する施設整備も進んできた。それらの様々な取組みの進展により、来町者や町外との交流が大きく増え、町内の活動も活発化している
- 人口減少については、R6.4～12月までの社会増減は+9人の増加で推移し、改善傾向が続く
- 2つのビジョン「**活気あふれる明るい町**」「**町外と活発な交流のある町**」の実現に向けた道筋が見えるところまでやってきた
- 一段階先の新たなフェーズ「**活気あふれる町 2.0**」に移り、ギアをあげて重要施策を前に進め、町に活気を生み出していく
- 「**為せば成る、為さねば成らぬ、何事も、成らぬは人の為さぬなりけり**」（上杉鷹山）。どのようなこともやる気と強い信念をもって一生懸命にやり通せば、必ず実現できる。逆に無理だと思ってあきらめ努力をしなければ、絶対に実現できない。**必ず成し遂げるという強い意志**を持って、令和7年度も町づくりに注力する

「活気あふれる町 2.0」

(1) カヌーの町づくり

美郷で初めて開催されるインターハイ大会成功に、関係機関等と密に連携して準備に万全を期す。県加-協会、みさと加-クラブと連携した地元での取組み強化により競技人口のすそ野を広げ、競技者を育成（邑智中加-部活動の地域クラブ活動へ移行（大和中や近隣市町の生徒も参加可）、川本町教委、島根中央高校と協力した加-体験教室開催）

(2) バリの町づくり

- ① **バリ島マ村訪問事業** 「学生親善大使」…中学3年生を対象に、マ村での文化体験に加え、ホームステイを計画。美郷の子どもだからこそできるプログラムで国際感覚を育む。バリフェスのスタッフ参加も 「一般親善大使」…マ村民と交流し友好を深め、バリ島の名所や伝統・文化に触れ、理解・親近感を深める 「文化親善大使」…ガムラン音楽、バリ舞踊等の実践者を対象に、本場でガムラン、舞踊の研修、町のバリ文化振興に役立てていただく
- ② **美郷バリフェスティバル** ブラッシュアップし、より多くの方に参加いただき一層楽しんでいただけるよう計画。マ村を拠点に活躍するガムラン楽団、台湾の「台湾大学」「台北芸術大学」の学生がガムラン楽団を招聘し、演奏・舞踊ステージを計画
- ③ **バリ文化発信拠点の整備** 既存施設「加-の里おおち」の「加-博物館」を活用し、文化発信拠点（仮称「バリ文化体験交流館」）として整備。加-やアウトドアファンに加えて、バリファンや町外からのガムラン合宿者などの訪問による利用拡大や、「ガムラン合宿」プランの検討

(3) 美郷バレー構想

獣害対策に始まり、幅を広げてきた取組みは、麻布大学等の美郷バレー参画団体に留まらず、町内の飲食店、学校、住民グループへ連携が広がり、地域に根付き始め、獣害対策に留まらない幅広い分野で注目高まり、多くの人、企業が町を訪れる好循環が生まれている

「ピンチをチャンスに変える」ために、産官学民の力を結集して様々な課題解決に取組み、町民・地域の交流を深め、活性化に結びつける

「**林業分野でのドローン活用**」～実証試験から実用化へ・全国的な課題解決を図る～ 古河電工（株）、タガ-（株）、邑智郡森林組合等と連携したドローンによる苗木運搬を支援する「スマート林業推進事業」を創設（県内初の支援策）

「**旧 JR 三江線線路敷での鉄道林の森林再生実証実験**」～鉄道廃線跡地活用の全国初の取組み、美郷町発の課題解決のモデルを創る～ JR 西日本、広島大学、鳥取大学、邑智郡森林組合と連携し次のフェーズに。線路敷を使った木材搬出の実証実験は、次は私有林から木材搬出を行い、再造林で多面的機能を持つ森林として活かす計画。その後、新たな実証実験の場とする計画（赤外線付きドローン夜間調査で、データ収集・解析や被害状況等を把握し、野生鳥獣の被害防止対策）

「**ジビエの町**」 美郷町だからこそこのジビエ料理が味わえる「ジビエの町」としての取組みにも注力

(4) 情報収集力の強化、移住希望者、滞在人口・活動人口とのコミュニケーション力の強化

- ・重要施策などに関する情報収集力を強化。ソーシャルメディアなどの反響・調査、サイト解析などを本格的に実施。分析結果を基に施策や情報発信の精度向上、ブラッシュアップを図る
- ・滞在人口・活動人口とのコミュニケーションツールの作りこみを検討。バリ好きや加-競技者等に、単にイベント、大会開催の一時的な告知だけでなく、普段から相互にコミュニケーションを図ることのできる WEB・仮想空間の仕組みづくりを検討

(5) 新たな人の流れづくり

「地域おこし協力隊」 制度を活用、地域活性化や移住、活動人口・滞在人口創出に取組む

「おためし体験」「大学生インターン」…「大人の山留学」「地域おこし協力隊」に入る前のマッチング

「大人の山留学」…町の取組みとリンクした分野で実施【バリ島交流・ふるさと納税・加-振興・美郷町の魅力発信】

「サテライトオフィス」 都賀行のサテライトオフィス「みさとと。材」が3月下旬に竣工予定。利用者の募集を開始。レンタルオフィス4室、ワーキングスペース、交流スペースに加え、シャワー室、ミッドジョイなど、「みさとと。材」とは異なるコース、ワークスタイルの企業などの進出を期待

(6) 滞在人口・活動人口の拡大 ～「滞在人口」「活動人口」の来町支援を強化～

滞在宿泊費補助の拡充（従来の2事業を統合して大幅にリニューアル） 「対象人数を8人以上から5人以上に引き下げ」「町イベント参加者や加-・バリ関係団体、インターン大学生を新たに対象に」「大学生は、3日目以上の滞在日数に応じ『みさとと。Pay』ポイント付与+町への移動経費に補助」

(7) 二地域居住の推進

美郷町を含む二地域居住を実践し、町の活性化に寄与していただいている方の中から「二地域居住アドバイザー」を任命。町への提言、町外居住先での町のPR等。それらから得た知見や今後、具体化する国事業の活用を検討、美郷町ならではの二地域居住制度を作りこむ

(8) 美郷町商業活性化・賑わい創出事業

R7には詳細設計を実施予定。町商工会等と連携し、テナント誘致や管理運営体制の検討をより具体化

(9) みさと農業再生プラン・みさと型e-CO2農業モデル

3月に研修施設が完成予定。「ミトマ就農研修制度」は第1期研修生を決定し、4月以降、研修制度をスタート。「ファームポート美郷」の運営方針を「耕作放棄地対策」から「農家の支援」重視にシフト、「守る農業」の役割明確化。体制強化し農作業受託など農業支援サービス事業に注力

(10) 活気あふれる町づくり課

「活気あふれる町2.0」へのフェーズ移行を踏まえ、「美郷暮らし推進課」を「活気あふれる町づくり課」に改称…活動・滞在人口の拡大など町の活気を生む施策を加え、推進

1 町民の暮らし（健康長寿、安全・安心、不便の少ない暮らし）**(1) 健康・長寿対策「長寿県長寿町」****① 健康づくり、感染症対策等**

検診メニュー追加…「腹部CT検査」（すい臓がん早期発見に有効）、「歯周疾患検診」（歯周病、糖尿病等の全身疾患、認知症等の予防）
20歳以上対象の子宮頸がん検診費用助成の対象拡大（県外医療機関も対象に）、65歳以上の対象の带状疱疹ワクチン定期接種費用の助成

② 高齢者福祉等 住民主体で高齢者のサポート、交流の場づくりなど連合自治会単位での生活支援体制づくりを引き続き推進。

「生活支援事業」…実施4地域に加え、検討中の2地域支援、「介護予防対策」…3つの教室メニュー、住民グループの取組支援や専門職による短期集中訪問指導、「認知症予防対策」…認知症カフェを基本会場に加え集会所等で実施、初期の方へ訪問集中指導

(2) 安全・安心な町づくり**① 治水対策・防災対策 「潮上地区の堤防整備」…昨年、国による地質調査が実施。今後の事業化に向け引き続き国に働きかけ、「江の川中下流域マスタープラン」…プランに基づく治水対策が進められるよう、引き続き、国、県等と連携****② 災害対応力の強化 「デジタル技術を積極的に活用し、日頃の備えと災害発生時の両面から強化」…デジタル版ハザードマップ等の防災情報、災害情報収集アプリ、マイナンバーカード利用による避難所受付等、「AI等を活用した専門の自動操作化の実証実験」…全国初の取組み、R7の出水期から河木谷樋門で開始予定、「地域防災力の強化」…古河電工（株）と連携した地区防災計画WS等の実施地区増、防災学習会や町との連携強化等、「避難所の環境改善」…指定避難所等のマット、トイレ、バスなどの資機材の整備（国の事業採択を受けた場合）****(3) DXの推進 様々な分野で生成AIを含む新技術の検討・活用。デジタルに不慣れな方も利用しやすい仕組みで、生活やサービスの利便性の向上****① 行政手続の利便性向上、オンライン化 身近な手続を中心にオンライン申請化のメニュー拡充、マイナンバーカード等を活用した窓口手続の負担軽減・省力化****② オンライン診療 大和診療所での開始準備****③ 情報発信 ターゲットを踏まえた戦略的な情報発信や、利用者ニーズに応じた公式ホームページの利便性向上や情報充実。公式ホームページのリニューアル（3ヶ月以内で必要な情報にアクセス、直感的操作で情報にたどり着くためのサイト構成見直しなど）****(4) 交通難民・買物難民対策、自動運転 公共交通対策だけに留まらず、深刻化している運転手不足や、町民生活にとって重要な課題の解決のために、引き続き様々な方策を検討****① タクシー利用助成事業の拡充制度化 3月まで期間限定で実施した利用エリア町内全域拡大を制度化****② 自動運転実証実験 長距離運行など実装に向けた、より踏み込んだ実証実験を予定****(5) 脱炭素のまちづくり 脱炭素化推進と共に、町民の暮らしの利便性向上や事業者の活動支援のため全国トップクラスの様々な補助制度****(6) 都賀長藤地域の活動拠点の整備 活動拠点の建築に着手****2 人口減少対策（移住・定住人口対策、滞在人口・活動人口の拡大）**

引き続き、直接的な人口増加施策である移住・定住対策に加え、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりに取組み、それらに留まらず、滞在人口・活動人口を生み出す取組みに一層注力

(1) 子どもの成長支援～「子育て支援のその先へ」の考え方にたった「子どもの成長支援」～ 「美郷町子ども未来応援金」「小中学生資格取得等応援事業 みさとと。ステップアップ」「学校給食の質向上」などの取組に引き続き注力**(2) 子育て支援 充実したメニューを更に拡充 「『不妊症』治療への助成」「子ども医療助成事業の対象拡大（対象年齢を高校卒業までに）」****(3) 定住ポイント（転入、就職、結婚、出産などのライフステージの節目でポイント付与） R7は更に拡充し、人手不足の分野やイノベーションの人材確保といった課題解決につなげる → 「対象者の拡大」…特定技能・育成就労・技能実習の方を対象に、「イノベーションの人材確保」…介護施設、農業法人、タクシー運転手の就職に20万ポイント付与、「有資格者ポイントの対象追加」…4資格者に加え、特定技能・育成就労等を追加****(4) みさとと。サステナブル、住まい確保対策 「サステナブル」…浜原に2棟の建設を計画、「住まい確保対策」…新事業を創設（空き家を改修して賃貸住宅にする場合への補助）。空き家利用希望者で多い賃貸希望とマッチングし、空き家活用****(5) ふるさと納税 魅力のある返礼品の開発・登録、それらの魅力の見せ方のブラッシュアップやクラウドファンディングの検討など****3 町の活気づくり（町内産業の活性化、賑わい創出）****(1) 観光振興 広島広域都市圏参画による広島方面や圏域をターゲットとした取組みを活かし、美郷町観光の魅力発信やコンテンツの更なる活用、美郷町観光協会と連携した取組み等、「中原芳煙展」潮村出身の日本画家「中原芳煙」氏の生誕150周年を記念し開催****(2) 町の強みを活かしたビジネス創出・事業者支援等 「みさとと。ビジネスプランコンテスト」の実施、「地域商工業等支援事業」…新たに「チャレンジ事業者支援」枠を設け、新たな起業・ビジネスチャンスを支援。引き続き、町内事業者の意欲的な取組みを幅広く支援****(3) 消費域内循環・物価高騰対策 「みさとと。Pay半額まつり」…8月に計画。ポイント付与率は以前と同じ50%、上限20,000ポイント、支払い対象は「みさとと。Pay」加盟店での「みさとと。Pay」カード・アプリの支払いに変更、町外の方は、アプリ利用者を対象****(4) 農業支援 集落営農組織の兼業農家への負担集中の支援のほか、地域計画の策定支援。地域計画を踏まえた農業者支援サービス事業****(5) 畜産支援 多頭飼育農家への県等と連携した経営サポート、様々な町の補助制度を活用した畜産経営の支援****(6) 林業振興 基盤整備（林道、作業道等の維持、開設等）、美郷町林業推進協議会と連携した人材確保・育成（就労環境の改善支援、高校生職場体験受入、PR等）**